



学校だより

空清々

第 7 号

鹿児島市立伊敷台中学校
平成30年10月31日発行

学習文化発表会開催

校長 徳重 清純

10月26日(金)、学習文化発表会(台中祭)を開催しました。本年度の生徒会年間メインテーマと共に、サブテーマとして「**The best memory ~輝かしい未来へ~**」(帖佐駿君発案)を設定し、全校生徒が一丸となって取り組みました。

舞台発表の部は生徒会文化部長の徳永美智さん、副部長の吉良光貴君と、生徒会本部、各学年・学級の文化部長、総勢26人で当日までの発表を取り仕切ってくれました。また、展示発表の部は生徒会学習部長の林央祐君、副部長の江口佳穂さんと、各学年の学習班長、総勢17人で多目的ホールの作品展示を指揮してくれました。台中祭のために何か月も前から準備し、当日は素晴らしい発表ができたと思います。心からの慰労と感謝の気持ちを実行委員会の生徒たちへ伝えたいと思います。

今年も舞台発表として、台中名物の構成劇が2・3年生で、そして合唱コンクールが1年生で行われました。それぞれの学年のカラーがよく出た、とても質の高い発表だったと思っています。

その他の舞台発表では、生徒会役員によるオープニング劇「上演中のマナー」、中園風符さんの弁論「人生短し 色出せ若人」、英語科からは3人の生徒によるトピックトーク・スピーチ・英語弁論、合唱部の「Singing in harmony」、吹奏楽部の「Viva 台中 2018」が披露されました。どれもこれまでの練習成果がよく出ており、会場から大きな拍手をいただくことができました。

また、展示部門の大きい作品では、3年生の構成劇用のモザイクアート「私らしく生きていこう 全力の赤学年」と、2年生全員の名前・夢・長所等が書かれた学級別の広幅用紙「名づけられた葉」があり、美術部もゴッホのひまわりを模写した大きな黒板アート等を展示してくれました。他にも各教科での作品や夏休みの自由研究等が、多目的ホールいっぱいに入れ、鑑賞する観覧者を楽しませてくれました。

今後、本作品の一部は、地域の文化祭(伊敷台・伊敷・花野)にも展示されることとなっております。多くの保護者や地域の皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。



生徒会長任命式から

10月24日(水)の全校朝会にて、新生徒会役員の任命式を行いました。これは、去る9月28日(金)に実施された生徒会役員選挙を受けて、これから1年間、伊敷台中生徒会を牽引していく第26代生徒会長、副会長をお願いする式を意味しています。第26代役員も専門部等の機構改編はなく、先代と同じ19名の執行部役員となります。

ところで、本年度は市内40校の中学校の生徒会をまとめる市中学校生徒連盟の事務局として第25代生徒会役員はこれまで頑張ってきました。10月16日(火)にも第3回執行委員会を開催し、本校生徒会役員が会議の運営等を取り仕切ってくれたところです。残りの大きな行事としては常任委員会が2回、執行委員会が1回あります。最後まで、市内全体の生徒会活動のまとめ役として全力を尽くして欲しいと願っています。

これからは、第26代役員の出番です。早速、学習文化発表会では新役員も慌たたく動いて、旧役員と協力していたと聞いております。今後共、先輩方から引き継いだ伊敷台中のよさを更に発展させて欲しいと思います。



【第26代生徒会役員任命書授与】

芸術鑑賞教室 ～劇団道化公演～

10月12日(金)の4～5校時、全校生徒を対象とした芸術鑑賞教室を体育館で実施いたしました。本年度は、文化庁が行っている「文化芸術による子どもの育成事業(芸術家の派遣事業)」に本校が応募したところ、幸運にも採択され公の補助金をもって無料で劇団を招へいすることができました。

今回は福岡県太宰府市朱雀を拠点に全国、あるいは外国まで公演されている「劇団道化」の皆さんで、演目は「知覧・青春～アイ アム ヒア!～」でした。2006年、劇団のスタッフと、鹿児島県の高校生と青年12人が脚本づくりに係わって創

作した物語だということでした。12年前、中学生で観覧した山元美侑さんは鹿児島県の出身で、現在では劇団スタッフ(役者)としてこの劇団を支えているとのことでした。

本校からも3年生が10人、2つの場面で、追っ手役やバスの乗客役で劇に出演しました。初めて演技するには堂々とした台詞回しや態度で、全校生徒から拍手喝采を浴びていました。生徒にとっては中間テストも終わって、ホッと一息の時間でした。良い思い出になってくれれば幸いです。



【生徒代表から劇団員へお礼の花束】

ブロック別校長会から

10月9日(火)、本校にて小・中ブロック別校長会が行われました。この行事は市内小・中学校を4つのグループ(ブロック)に分けて、毎年各ブロック2校が会場となり開催されている行事です。従って、本校が会場となるのは、約15年に1回の輪番となります。

当日は39校の小・中学校の校長先生方と市教育委員会の担当主事等とお迎えし、視聴覚室にて、市教委からの指導・行政関係の説明がありました。また、本校の学校経営説明等も行い、伊敷台中学校の良さを分ってもらう時間も持つことができました。5校時には少人数授業も含め、19の授業を校長先生方に参観していただきました。

生徒のあいさつ、服装や身なり、整然としている校内環境等に感心した、という校長先生方の感想を数多く頂戴しました。毎日生活していると気付かない今の伊敷台中生徒の良さを、改めて確認することができた1日となりました。



【本校で行われた校長会の様子】